

ふじ・あしたかの
自然への招待 ⑬

動物 (No.2)

◇ 鳥 類

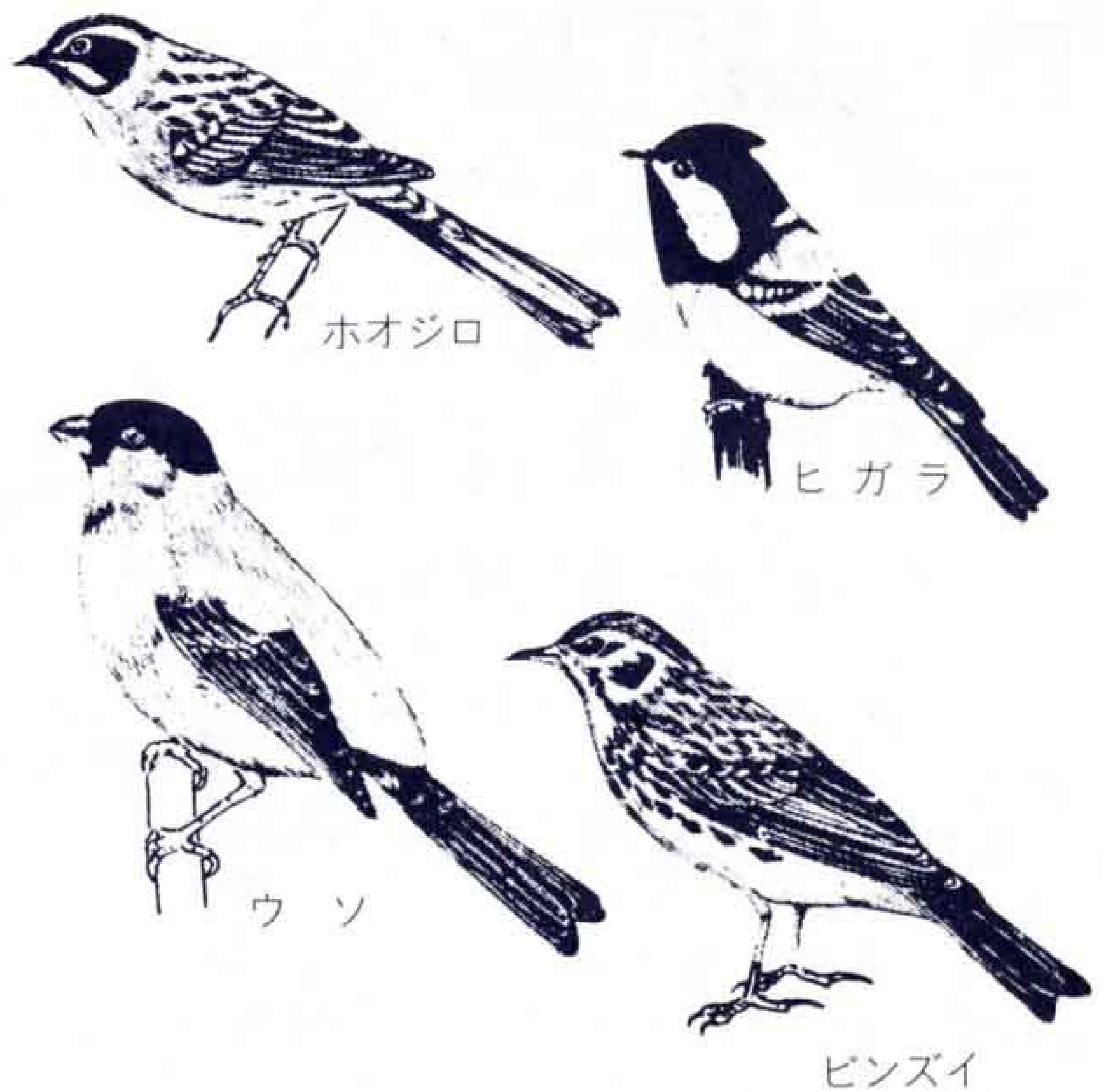
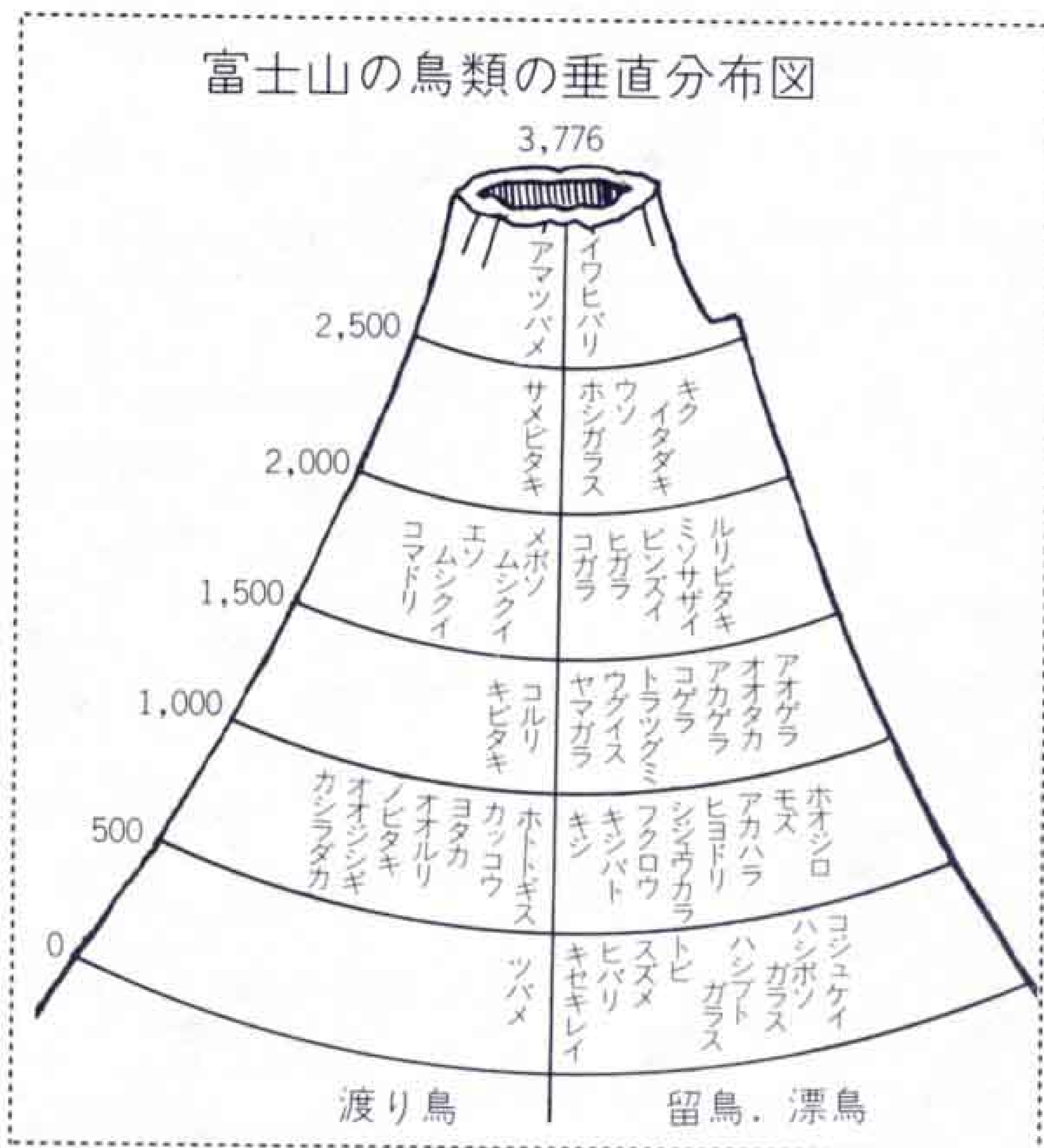
富士山や、愛鷹山には、さまざまな植物があります。そのために、多くの種類のこん虫類が育っています。

植物と豊富なこん虫類がいることは、野鳥にとっても、かっこうの「エサとすみか」を持っていることにもなるわけです。

この地域で見かける野鳥は、四季を通してすみついている鳥と、毎年、春になると南から、タマゴを産み、ひなを育てるために帰ってくる鳥や、秋から冬にかけて北国からの渡り鳥などで、ざっと180種余りです。

ほとんどの野鳥は、富士山や愛鷹山中の豊かな自然をすみかとしています。しかも、富士山は、独立した高い山で、ゆるやかな裾野が、海岸近くまで続いているので、野鳥のすみかも、種類も、標高によって変わることがわかります。

これを垂直的に見ますと図のようになります。



◇ こん虫類

こん虫類は、植物のようすや、土壌や水質などによって、生活しているところがちがいます。

昭和48年から49年にかけて行なわれた富士・愛鷹山ろく学術調査の例を見ますと、チョウ類は、クヌギ、コナラなどの二次林、ススキなどの草原では見られますが、スギ、ヒノキの植林地では見ることができません。またカブト虫などのこん虫類は、大部分がクヌギ、コナラの二次林に見られ、ススキの草原や、スギ、ヒノキの林では、ごくわずかしか見つかっていません。

◇ その他

○ハコネサンショウウオ

愛鷹山の須津川、赤瀬川の上流の溪流のなかにあります。普通見られるのは5センチぐらいのこどもです。おとなになると20センチぐらいの体長になり水のない、谷の奥深いところへすみかを変えていきます。

表紙のことは

第1回市民投げ釣り大会が5月6日午前7時から柏原海岸で市内鈴川の最年長者78歳の北澄音作さんをはじめ350人の市民が参加、大物賞などを狙って腕を競いあいました。この日連休最後の日曜日と好天に恵まれ海岸一帯は、各町内の子ども会の綱引きが行われ、どこも家族づれで楽しいひとときをみせていました。大会は午前11時で打ち切り審査の結果入賞者には市長杯など豪華なトロフィーが贈られました。

市の行事やお知らせは
ダイヤル市政案内で ☎52-1111

火災の問合せは
ダイヤル火災情報で ☎52-1181